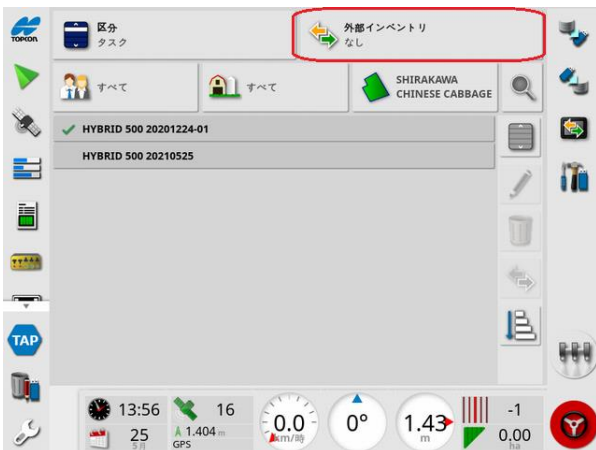

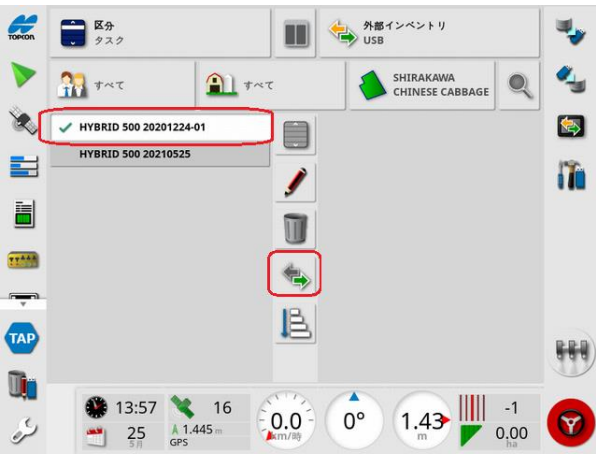



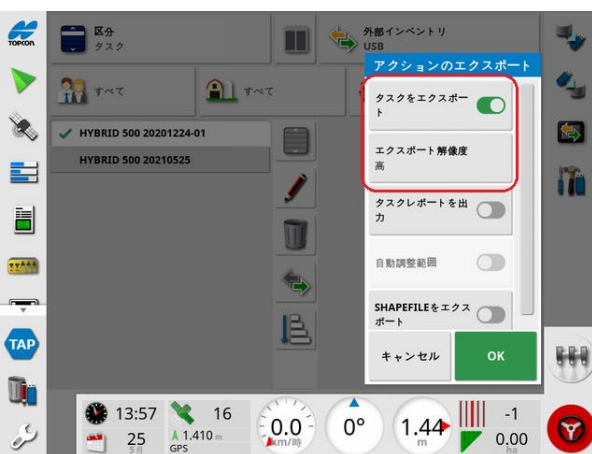



各種データの出力手順

HORIZN5.01 以降での各種データ（タスクデータ、タスクレポート、SHAPEFILE）の USB メモリへの出力方法を説明します。作業がタスクとして保存されているデータが対象となります。

1. 操作手順

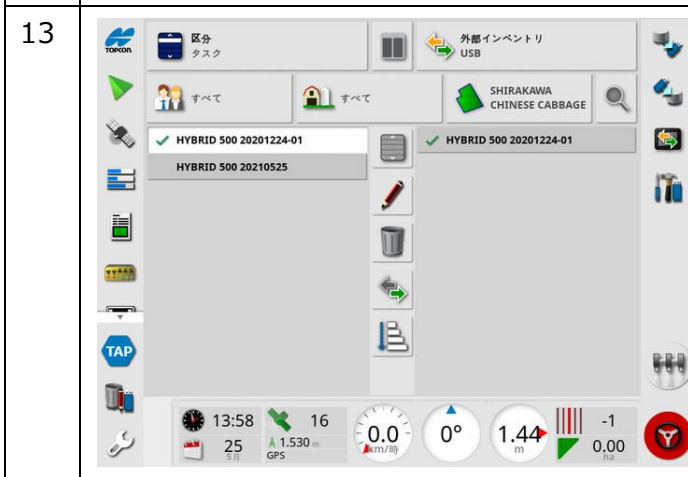
1		<p>作業を終了させて [インベントリ管理] アイコンを選択します。</p>
2		<p>[区分] 選択します。</p>
3		<p>[区分] ダイアログが表示されるので [タスク] を選択して [OK] を選択します。</p>

4		<p>コンソール内のタスクの一覧が表示されます。 次に [外部インベントリ] を選択します。</p>
5		<p>[外部インベントリ] ダイアログが表示されます。 今回は USB メモリへのデータ出力になりますので、[USB] を選択して [OK] を選択します。</p>
6		<p>画面の左側のコンソールの内容の一覧で、右側が USB メモリ内の内容の一覧の画面になります。USB メモリには何もデータがありませんので一覧には何も表示されていません。</p> <p>左側のコンソール内のタスク一覧から出力したいタスクを選択して、中央の [転送] アイコンを選択します。</p>
7		<p>[アクションのエクスポート] ダイアログが表示されますので、ここで出力したいファイル形式を選択できます。</p> <p>選択できるのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> - タスクデータ - タスクレポート - SHAPEFILE <p>の 3 種類です。</p>

8		<p>タスクデータだけを出力したい場合は、左図のように [タスクをエクスポート] だけオンにします。そのオプションである [タスクの解像度] は [高] の設定のままとしてください。[中] [低] を選択した場合は、そのタスクデータを再利用する際にデータが粗くなり利用に支障を生じる場合があります。</p>
9		<p>タスクレポートだけを出力したい場合は、左図のように [タスクレポートを出力] をオンにしてください。そのオプションである [自動調整範囲] をオンにすると PDF レポートで作業範囲が収まるように自動的に縮尺が適用されます。</p>
10		<p>SHAPEFILE だけを出力したい場合は、左図のように [SHAPEFILE をエクスポート] をオンにしてください。</p>
11		<p>出力したいファイル形式の設定が終了したら [OK] を選択します。</p> <p>左図の例では 3 つのデータを指定しています。</p>



[転送しています] ダイアログが表示されてデータ転送状況が表示されます。
100% になったら [✓] を選択します。



画面の右側に転送されたタスクの名称が表示されます。これで指定のファイル形式での USB メモリへの出力が完了しましたので安全に USB メモリを取り外してください。